



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月15日

上場取引所 東

上場会社名 日本農薬株式会社

コード番号 4997 URL <http://www.nichino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神山 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長 (氏名) 伴 美博

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日

TEL 03-6361-1400

平成25年6月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	28,028	14.2	6,093	78.1	5,883	75.4	3,912	97.0
24年9月期第2四半期	24,551	9.9	3,421	27.6	3,354	29.4	1,986	25.4

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 4,736百万円 (120.5%) 24年9月期第2四半期 2,148百万円 (29.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	58.45	—
24年9月期第2四半期	29.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	66,644	39,385	58.8
24年9月期	49,983	34,971	69.7

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 39,200百万円 24年9月期 34,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	4.50	—	4.50	9.00
25年9月期	—	4.50	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	6.5	5,600	36.2	5,400	38.5	3,500	53.2	52.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料、P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	70,026,782 株	24年9月期	70,026,782 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	3,103,209 株	24年9月期	3,088,592 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	66,930,546 株	24年9月期2Q	66,958,420 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に公共投資が増加するとともに、企業の生産活動の持ち直しや個人消費の底堅い推移など緩やかな回復基調で推移しました。さらに、政権交代後の経済政策への期待感などから為替の円安基調への転換や株価の回復などもみられました。しかしながら、欧州政府債務危機の再燃による海外経済の下振れ懸念や厳しい雇用情勢の継続など景気の先行きは依然不透明な状況で推移しました。

当第2四半期連結累計期間までの国内農薬出荷額実績は、ほぼ前年同期並みの水準で推移しました。一方、国内農業を取り巻く環境では、農業従事者の高齢化、後継者不足の深刻化や耕作放棄地の増加などの構造的課題の解決は進んでいません。また、「TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)」交渉への参加に関する議論が急速に高まるなど新たな展開もみられました。

このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は280億28百万円(前年同期比34億76百万円増、同14.2%増)となりました。利益面では増収効果に加えノウハウ技術料の増加もあり、営業利益は60億93百万円(前年同期比26億72百万円増、同78.1%増)、経常利益は58億83百万円(前年同期比25億29百万円増、同75.4%増)となり、四半期純利益は39億12百万円(前年同期比19億26百万円増、同97.0%増)となりました。

なお、中間配当金は1株につき4円50銭とさせていただくことといたしました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

[農薬事業]

国内農薬販売では、園芸用殺虫剤「フェニックス」、水稻用殺菌剤「ブイゲット」や園芸用殺虫剤「コルト」を始めとする主力自社開発品目の普及拡販に努めました。また、新製品5剤の販売を開始し品目ポートフォリオの拡充を図りました。農薬原体販売では園芸用殺虫剤「コテツ」などの主力剤の当用期に向けた販社への荷動きが活発となり国内販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

海外農薬販売では、米州および欧州での販売が好調に推移しました。品目別では温暖な気候が続いた米州で害虫の発生が例年より多く、ニチノーアメリカインコーポレーテッドでは、殺ダニ剤「ダニトロン」や園芸用殺虫剤「アプロード」の売上高が伸長しました。また、フェニックス原体販売の増加や為替が円安基調に推移したことなどから、海外販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

これらの結果、農薬事業の売上高は258億7百万円(前年同期比36億75百万円増、同16.6%増)となり、営業利益はノウハウ技術料の増加もあり、57億22百万円(前年同期比25億67百万円増、同81.4%増)となりました。

[農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、シロアリ薬剤が販路拡大から売上高が伸長しました。また、医薬品事業では、販社支援強化などから国内医療用外用抗真菌剤「ラノコナゾール」、「ルリコナゾール」の売上高が伸長しました。しかしながら、前期に事業の「選択と集中」の観点から水処理薬剤販売事業を譲渡し、有機中間体事業を当面休止したため化学品事業の売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、農薬以外の化学品事業の売上高は11億41百万円(前年同期比2億81

百万円減、同 19.8%減)となり、営業利益は3億52百万円(前年同期比22百万円増、同6.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ166億61百万円増加し、666億44百万円となりました。これは、農薬の需要期となる第2四半期の季節的変動による売上債権の増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ122億46百万円増加し、272億58百万円となりました。これは、仕入債務の増加及び借入金の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ44億14百万円増加し、393億85百万円となりました。これは、四半期純利益による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月16日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,512	7,092
受取手形及び売掛金	12,801	22,598
有価証券	3,000	7,000
商品及び製品	6,417	6,754
仕掛品	457	532
原材料及び貯蔵品	1,997	2,055
その他	1,599	1,870
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	31,781	47,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,651	4,613
機械装置及び運搬具(純額)	1,899	1,803
土地	5,602	5,602
その他(純額)	637	790
有形固定資産合計	12,791	12,809
無形固定資産		
	820	869
投資その他の資産		
投資有価証券	2,887	3,679
その他	1,721	1,400
貸倒引当金	△18	△16
投資その他の資産合計	4,590	5,064
固定資産合計	18,201	18,744
資産合計	49,983	66,644

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,588	9,206
電子記録債務	678	1,039
短期借入金	537	3,877
未払法人税等	240	1,819
賞与引当金	580	542
営業外電子記録債務	100	64
その他	3,949	4,190
流動負債合計	10,676	20,739
固定負債		
長期借入金	200	2,500
退職給付引当金	2,025	1,966
その他	2,109	2,053
固定負債合計	4,335	6,519
負債合計	15,011	27,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,939	10,939
資本剰余金	13,235	13,235
利益剰余金	12,261	15,872
自己株式	△1,617	△1,624
株主資本合計	34,819	38,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217	738
為替換算調整勘定	△219	37
その他の包括利益累計額合計	△1	776
少数株主持分	152	185
純資産合計	34,971	39,385
負債純資産合計	49,983	66,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	24,551	28,028
売上原価	15,097	15,948
売上総利益	9,454	12,079
販売費及び一般管理費	6,032	5,985
営業利益	3,421	6,093
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	35	25
不動産賃貸料	28	37
受取保険金	45	3
持分法による投資利益	35	33
その他	21	24
営業外収益合計	168	127
営業外費用		
支払利息	20	13
為替差損	81	154
たな卸資産廃棄損	52	97
その他	81	72
営業外費用合計	235	337
経常利益	3,354	5,883
特別利益		
企業結合における交換利益	8	—
投資有価証券売却益	2	25
特別利益合計	10	25
特別損失		
固定資産処分損	5	46
特別損失合計	5	46
税金等調整前四半期純利益	3,359	5,862
法人税等	1,362	1,931
少数株主損益調整前四半期純利益	1,997	3,931
少数株主利益	11	19
四半期純利益	1,986	3,912

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,997	3,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	520
為替換算調整勘定	105	280
持分法適用会社に対する持分相当額	3	3
その他の包括利益合計	151	804
四半期包括利益	2,148	4,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,122	4,690
少数株主に係る四半期包括利益	26	45

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,359	5,862
減価償却費	693	551
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△69	△59
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△33	△38
受取利息及び受取配当金	△37	△28
支払利息	20	13
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,890	△9,649
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,715	△337
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,749	4,872
その他	351	14
小計	△1,571	1,199
利息及び配当金の受取額	37	46
利息の支払額	△14	△7
法人税等の支払額	△667	△459
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,216	778
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△111	△680
無形固定資産の取得による支出	△154	△39
投資有価証券の取得による支出	△618	—
投資有価証券の売却による収入	6	56
関係会社出資金の払込による支出	△101	—
定期預金の預入による支出	—	△500
定期預金の払戻による収入	500	—
その他	△39	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△518	△1,116
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,902	3,034
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△400	△400
リース債務の返済による支出	△25	△37
自己株式の取得による支出	△3	△7
配当金の支払額	△301	△301
少数株主への配当金の支払額	△13	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,158	5,274
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,510	5,079
現金及び現金同等物の期首残高	7,448	7,226
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,938	12,306

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,131	1,423	23,554	997	24,551	—	24,551
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	438	440	△440	—
計	22,133	1,423	23,556	1,435	24,991	△440	24,551
セグメント利益	3,155	330	3,485	226	3,712	△290	3,421

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△290百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△311百万円、未実現利益の調整等21百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,807	1,141	26,948	1,079	28,028	—	28,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	423	425	△425	—
計	25,809	1,141	26,950	1,503	28,453	△425	28,028
セグメント利益	5,722	352	6,075	293	6,368	△274	6,093

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△274百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△294百万円、未実現利益の調整等19百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。